



## 噴火がもたらした自然の恵み

話し手 指宿市観光協会専務理事

かわ ばた のり ひろ

川畑 徳廣さん (昭和33年4月30日生)

聞き手 鹿児島県立指宿高等学校 普通科  
2年  
1年



## 開聞岳とともに生きて

ここはね、花瀬望比公園と言って、第二次世界大戦中にフィリピン方面で戦死された将兵47万6千有余の霊が鎮められた慰霊碑が設置されています。ここから見える海の先に比島(フィリピン)を望む場所ということで、ここに設置されました。今日、なぜここに来てもらったかということ、指宿市の観光というと、砂蒸し温泉や、知林ヶ島などの指宿地区が有名だけど、花瀬望比公園がある開聞岳周辺も非常に魅力的な観光資源があることを皆さんに知ってもらいたくて来てもらいました。



私の生まれはこの公園がある花瀬海岸沿いの脇という所で、高校生の時にはこの公園周辺の海に潜って遊んでいましたよ。昔は、この周辺の海にはイソギンチャクが五色の花をたくさん咲かせていました。公園の「花瀬」という名前もそこから来ています。

海岸にある砂はね、黒砂といって開聞岳が噴火した時の灰や溶岩で形成されたものですよ。砂浜に丸石が多いのは波がさらった影響ですね。鹿児島の土地は肥沃ではないけど、山川の徳光地区は開聞の火山灰で水はけがよく「徳光スイカ」という美味しいスイカが栽培されています。

## 海の宝物を生かす

最近、海岸の地形を生かしたサーフィンスポットとして、入野にサーファーが訪れるようになりました。捨てられたごみをサーファーの方々が拾ってくれるので、海岸が綺麗に保たれるようになりました。実は私の生まれた家は、そこから歩いて数分の所にあります。この海岸では昔、十五夜に砂を5mくらいの高さに積んで土俵を作り、相撲を取るという行事がありました。今はもうやっていないけど、懐かしいです。

他にも、海岸ではオリピンという鉱物がとれます。ペリドットと

いう宝石名の鉱物で、オレンジがかってとても小さいです。石言葉が「幸福」や「友愛」だそうです。これも指宿市の方でPRして、お守り代わりに拾いに来る方や万華鏡作り体験に使う方もいます。

## 残していきたい文化

指宿の観光を作り出しているのは、開聞岳の噴火によって作り出された自然の恵みです。その恵みを私達は、砂蒸し温泉や池田湖一周体験などの観光に生かしています。

観光は「光を観る」と書きますね。私は、その光がどのくらい輝けるのか、どう見せるのかということを考えるのが大切だと思います。そして、観光地であるためにもう一つ大切なのは、周りの人の“おもてなしの精神”です。指宿は他の街に比べてその精神が根づいていると思います。

例えば、地域の方が列車に手を振ったりとか、お見送りに行ったりしています。よく「文化のない街には若者は育たない」と言われます。こうした文化や郷土芸能などを若者に伝え継承していかなければいけないと思いますね。



想比之像



### 聞き書きコラム



## 江戸時代も評判!?「徳光スイカ」

江戸時代、すでに山川のスイカはうまいと、評判だったようだ。江戸時代に薩摩藩が編纂した三国名勝図会に「西瓜 當邑に出るは、皮薄くして、味甘美なり。藩人山川西瓜と称し、賞味す。」と記してある。現在も「徳光スイカ」のブランドで人気がある。おいしさの秘密は、開聞岳にある。開聞岳のすそ野にあたる徳光地区一帯には、火山噴出物が厚く堆積している。これらを含む土壌は、通気性、透水性に優れ、施肥量のコントロールが比較的容易で、保温効果が高いという特性がある。

この土壌がスイカの生育には最適だったようだ。